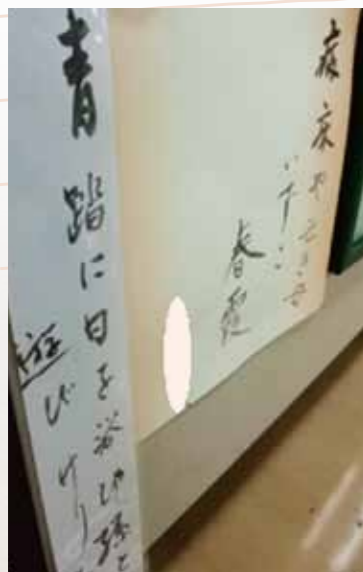


自分『再』発見

rehabilitation column
リハビリコラム
vol.2



嬉しかった瞬間

数ヶ月前のことです。
2年前に入院されて、言語療法を受けていた患者さんが、他の治療のために入院をされてました。今回はリハビリとは関係がなく1週間程度の入院。僕はその部屋の近くを通った時は、必ず顔を出して話をしていました。その患者さんが退院後、急に訪ねてくれました。「何か問題が起こったのかな？」と一瞬頭をよぎりましたが、患者さんの笑顔を見てひと安心。

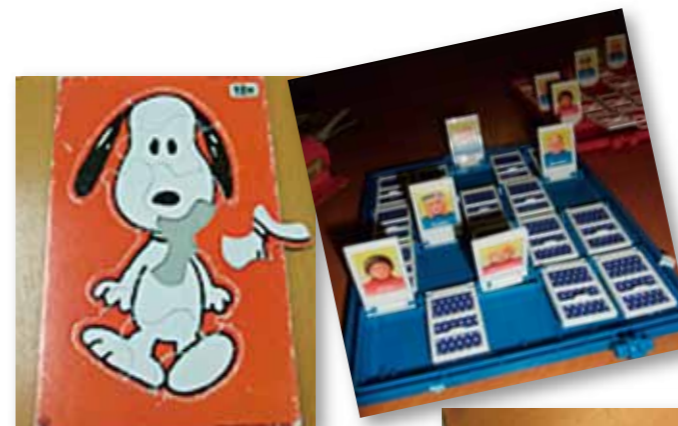
「先生と約束してたもの持って来たよ!!」
持ってこられたのは、自ら書かれた俳句。

病床や亡き母
いずこ
春霞
青踏に日を浴び孫と
遊びけり

実は、入院中に「俳句を作ったら持ってきてくださいね」とお話をしていたのです。その方は、嬉しそうに持ってこられました。何気ない一言でも、ずっとそのことを覚えていて下さり、行動に移されたことが嬉しくなりました。「言葉の力ってすごい大切だな」って、改めて感じました。その俳句は、現在、リハビリ室の一角に飾られています。
【さしきST】

和み

vol.14



悪くなってからするもの?



専門家にしてもらうもの?



自分がするもの?



ちょっとリハビリご案内

*どなたでもご参加頂ける催しを掲載しています

第4回 滋賀県連携リハビリテーション学会研究大会

日時: 11月29日(日) 10時~16時30分

会場: 滋賀県立男女共同参画センター
(G-NETしが) (近江八幡市鷹飼町80-4)

テーマ

「共に暮らす地域社会

~社会参加を維持可能にする連携とは~

*詳しくは、事務局まで、お問い合わせください。
県立リハビリテーションセンター
(成人病センター内)

TEL.077-582-8157



福祉車両もくるよ!



滋賀県の人気者
キャッピーに
会いに来てね!



おいしいクッキーやパンが販売されます!!

特集 リハビリって? 県民の意識は?

~アンケート調査結果報告②~



表紙の写真は、成人病センターリハビリテーション科の療法室にあるおもちゃのごく一部を集めてみました。

心が動けば身体も動く! ゲームや遊びを前にして、気持ちがワクワクしたり、他の人と競う気持ちを持たれた事はありませんか? ゲームや遊びのもつ力を活かしたりリハビリテーションもあるのです。ゲームや遊びを通じて、身体を使ったり、頭を使ったりすれば、「楽しみ」ながら自然と元気が湧いてきますね。



編集後記

皆さんは『健康観』と『健康感』の違いがわかりますか? 一度、調べてみてください。

(編集担当: 宮本)

編集・発行

滋賀県守山市守山五丁目4-30 滋賀県立リハビリテーションセンター(成人病センター内)
TEL 077-582-8157 / FAX 077-582-5726 / e-mail ef47@pref.shiga.lg.jp

「リハビリテーション」は誰がするもの？

前号の「和み13号」では、成人病センター周辺で「リハビリテーション」に関するアンケート調査を実施しました。その結果から、多くの方が「リハビリテーション」という言葉をご存知で、リハビリテーションが一般的に使われている言葉であることがわかりました。しかし、その言葉のイメージは大変幅広く、「訓練や治療」「生活の中でのこと」「苦しいこと」「辛いこと」「楽しいこと」など様々でした。

そんな中「体が悪くなってから行うもの」「何らかの形で専門家の関わりが必要なもの」というお答えが多数あり、「リハビリはしてもらうものである」とお考えの方が多くおられることがわかりました。そこで、県内にお住まいの方166名を対象に、「リハビリテーション」に関するアンケート第2弾を実施しました。

予防ってなんだろう？ 健康観ってなんだろう？

前回は病院の敷地内という環境下でアンケートを実施しました。その結果から専門家の関わりを必要と考えるお答えが多かったため、改めて滋賀県全域の住民の方、老若男女を問わず、同様のアンケートを実施してみることとしました。

多くの結果となりました。体が悪くなってからだけではなく、元気な頃から、日ごろの生活の中で、自分に出来ることをやり続けることが、病気の予防や重症化の予防にもつながるのではないのでしょうか？

前回の結果と比較して違いが見られたのが「リハビリは誰がするものか？」という質問でした。「自分でする」というお答えがさらに少なく、「専門家にしてもらう」「どちらも」という回答がとにも多い結果となりました。



『あなたは自分でできるリハビリができていますか？』
 ＊多くの人が、病気でなければ健康であると感じておられます。また、運動不足、睡眠不足、ストレスといったものを生活上で感じていけば、健康でないと感じる人もおられます。
 このように個人個人で健康感は異なってくるため、健康状態が良好であっても、さらに健康の保持・増進を図ることが健康感を高めていくことであり、とても重要となります。

『あなたは自分でできるリハビリができていますか？』

◎少しの工夫でできることがあります！

◎生活の幅を広げましょう！
 生活の中に目標を見つけて、趣味や外出の機会などを増やしましょう。

◎生活の中にあるリハビリテーションを見つけてみましょう！
 洗濯・掃除・花の水やりなど毎日していることを続けること。



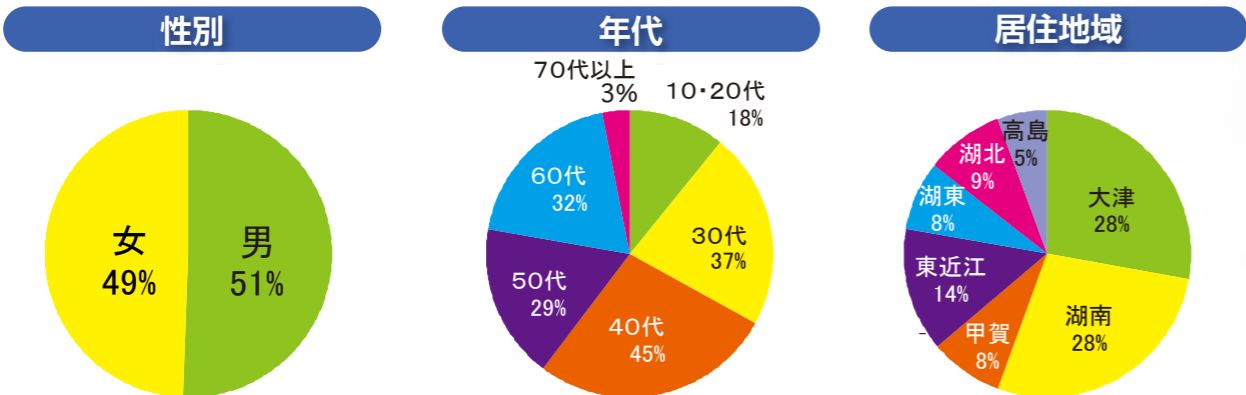
リハビリテーションについて聞きました



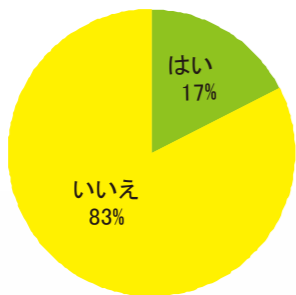
皆さんは、リハビリテーションと聞くとどんな思いを浮かべられますか？

今回、**県内にお住まいの一般県民の方166人**に「リハビリテーション」についてお聞きしました。

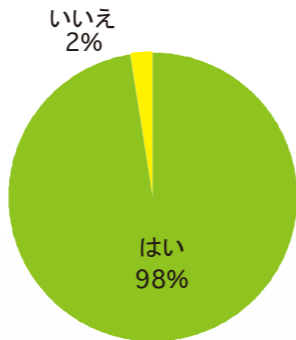
皆様からいただいたコメントは、滋賀県立リハビリテーションセンターまたは、滋賀県広報課ホームページで閲覧していただけます。



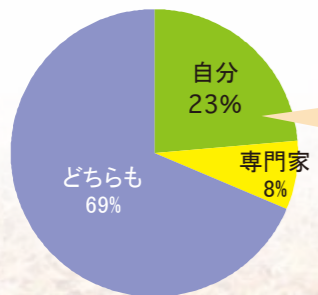
医療・福祉に関わるお仕事経験の有無



「リハビリテーション」という言葉をご存知ですか？



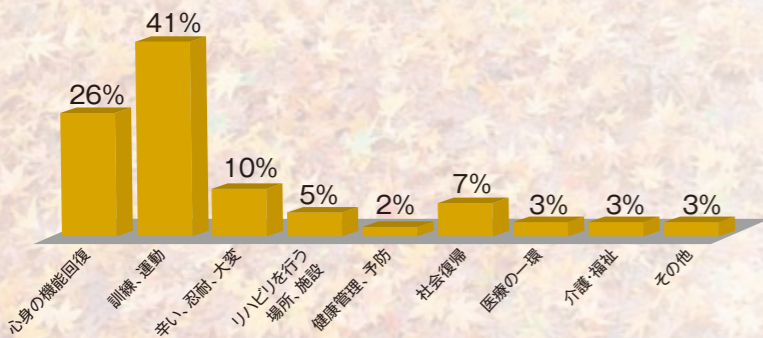
「リハビリテーション」は誰がするものですか？



前回、成人病センター内で調査した内容と比較すると、『自分でするもの』と答えられた方が13%も少ない結果となった。

2009.7 県政モニターアンケート結果より

「リハビリテーション」と聞くとどんなイメージ？



- ・病気や怪我で悪くなってから病院や施設で、専門家と一緒にする運動・訓練
 - ・元のように動けるようにする訓練
 - ・辛い、大変、忍耐
 - ・努力、根気がいる
 - ・障害を克服することも目的とした本人の自立
 - ・社会復帰のための地道な努力
- (一部抜粋)